

ボランティア人生 悔いなし

昔遊び、朗読…19年

功労賞の淡路忠義さん

「入学したら昔遊びに誘われて、そのままずーっと19年ですわ。ハハハ」。にこやかにテレ笑いするのは淡路忠義さん（福5・鈴蘭台東町）。5月総会で功労賞の栄誉に輝き、友人やボランティア仲間が大いに喜んでくれた。

昔遊びと同時に入ったのは明かりの会。どちらも性に合っていたのか、だんだん面白くなってのめりこんだという。明かりの会の仲間は十数人。聴覚障害者のために本や雑誌を朗読してCDに録音、施設へ贈る活動を毎月続けている。時に、小鳥の鳴き声、修行僧のほら貝の音の採録に出かけることもあるという。日赤には「声の奉仕団」という組織があり、そこと連携して活動することも多い。

昔遊び（研究会）は大所帯。メンバーは60人もいて、わいわいと作業する週1回の道具作りが楽しい。ぶんぶんゴマ、竹とんぼ、割りばし鉄砲、紙飛行機…折り紙。月に数百個は訪問先の子供たちに配るので大量のストックがいる。淡路さんの得意は竹で作る体操人形。竹を割って、削って、細かい作業ばかりだが、手先が器用なのか苦にならず、夢中になってしまう。北区会の折り紙教室で指導係をお願いしているくらいだ。

神港園の整髪支援も15年続けている。入浴を済ませた入所者の髪をドライヤーで乾かす仕事だが、熱すぎないよう短時間で片づけ、くつろいだ気持ちになってもらうには長年のコツがある。「さっぱりした。ありがとうね」。入所者の感謝の言葉がなによりの励みになる。北区会会長としてもH13年から5年間尽力され、児相（子どもセンター）の電話相談は今も継続中だ。

淡路さんは、福祉や奉仕に特別の関心があったわけではない。現役は物流関係の会社だった。カレッジに



入学してから温厚で心優しい性格と相俟ってボランティアの心に火がついたようだ。79歳にして健康状態は良好。「これからも精一杯（他のために）やりまっせ」。力強い言葉が返ってきた。（聞き手 南形徹）

【写真＝神港園で入所者の整髪をする淡路さん⑤】

永年表彰、北区は20人

7月22日のグループわ設立20年記念式典で、永年会員として59人に感謝状が授与されました。このうち、北区在住者は20人。次の皆さんです（敬称略）。

▽荻原允子（音1・若葉台）近森八重子（音1・鈴蘭台北）胤艸武宏（福1・広陵）泉田政子（音2・有野台）井上佳奈子（国3・鈴蘭台南）山根義男（国3・南五葉）尾末幸子（生3・星和台）坪井幸子（生3・北五葉）永井経子（生3・鈴蘭台東）住田暉江（食3・甲栄台）鍵本慶子（福4・君影）太田洋子（国4・北五葉）西向弘光（生4・唐櫃台）江田正子（音4・山田町）横山忠明（福4・筑紫丘）淡路忠義（福5・鈴蘭台東）井関一三（福5・花山台）前田羌（生5・有野）常信久子（音5・星和台）浅野禮子（国5・泉台）

ボランティア19年 淡路さん功労賞	1	南京町で龍舞演じる 神港橋高校	3
永年感謝状 北区から20人	1	鶴越の逆落とし楽しむ 歴史ノイク②	4
認知症・折り紙講座	2	秋のバスツアーは和歌山城へ	4